事務事業評価シート(平成20年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

8事業コード	事業名					担当課			担当係名				属長(語	長等)名		担当者係長名		
20000							住民	脱務課	住民係				林 龍太郎				宮原 正尚	
D3002 児童手当			給何學某				一次評価年月日			平成 21 年 6 月 29 日 連絡先〔内線〕						2101		
		会計区分					事	業コード		事業名(歳出予算見積書)								
予算におけ (会計区分 事務 事業 実施 の	ける位置づけ ・・事業コード・事業名)	×	一般	殳	г	特別		0365	児童手当事務									
		Г	一 船	및	L	特別			#N/A	N/A								
				章(コード選				2章	安らぎとうるおいのある社会									
第四次総合	合計画後期基本計画		節		(コー	(コード選択)		1節	地方分	・ 立方分権化に積極的に対応する								
の施策体	系における位置づけ	項[基本施策] (コー				ド選択)		213		児童手当制度の充実								
		主な取り組み (コード選			ド選択)		2131	児童ヨ	手当の	給付								
関連する記	+画等への位置づけ	×	第四次行財政改革力		革大綱	「 3ヶ年実		計画	Г	主要業務		報告	Г	その他				
事務期間		(開始) 47 年度		~	(終	(終了予定)		年度 ∟		開始時期不明		×	糸	冬期設定なし				
	の3002 予算におけ (会計区分 第四次総体 の施策体 関連する記 事務期間	7 第における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) 第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ 関連する計画等への位置づけ 事務期間	3002 児童手当給付 予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) 第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ 東京 関連する計画等への位置づけ 東務期間 「関連する計画等への位置づけ 東務期間 「関連する計画等への位置づけ 「関連する計画等への位置が 「関連する計画等を 「関連する 「関連する計画等を 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する 「関連する	ア第における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) 一角	現童手当給付事業 会計 会計 会計 会計 会計 会計 名計 会計 名計 会計 名計 名	児童手当給付事業 会計区分 ※ 会計区分 ※ 日本 (コート・事業名) 第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ 第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ 第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ 第四次行財政改革 事務期間 (開始) 47年度	児童手当給付事業 会計区分 会計区分 ※ 一般 「特別 「一般 「特別 「一般 「特別 「二一・選択) 第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ 「二ー・選択) 「二ー・選択) 主な取り組み (コー・選択) 財連する計画等への位置づけ 第四次行財政改革大綱 事務期間 (開始) 47 年度	(全民) 児童手当給付事業 会計区分 会計区分 事算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) 第一般 特別 中般 特別 中般 中別 第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ 第 (コード選択) 項(基本施策) (コード選択) 東市別間 (開始) 47 年度 (終	(住民税務課 - 次評価年月日) 会計区分 事業コード 学算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) 会計区分 事業コード 特別 0365 「一般 」 特別	03002 児童手当給付事業 住民税務課 予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) 会計区分 事業コード 図 一般 「特別 0365 児童= 「一般 上特別 #WA 章 (コード選択) 2章 安らき 第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ 第(基本施策) (コード選択) 213 児童= 章な取り組み (コード選択) 2131 児童= 財連する計画等への位置づけ 第四次行財政改革大綱 3ヶ年実施計画 事務期間 (開始) 47 年度 (終了予定)	03002 児童手当給付事業 住民税務課 住民税務課 住民税務課 中成 21 予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) 会計区分 下 一般 L 特別 9365 児童手当事 (コード選択) 2章 安らぎとうる 第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ 項[基本施策] 213 児童手当制 主な取り組み (コード選択) 213 児童手当制 財産する計画等への位置づけ 図 第四次行財政改革大綱 「3ヶ年実施計画」「 年務期間	住民税務課 住民税務課 住民税務課 住民税務課 住民税務課 住民税務課 住民税務課	住民税務課 住民係	住民税務課 住民係	住民税務課 住民係	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	03002 児童手当給付事業 住民税務課 住民係 林 龍太郎 予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) 会計区分 事業コード・事業名(歳出予算見積書) 第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ 章 (コード選択) 2章 安らぎとうるおいのある社会 第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ 項(基本施策) (コード選択) 213 児童手当制度の充実 主な取り組み 主な取り組み (コード選択) 2131 児童手当制度の充実 主な取り組み 主な取り組み (コード選択) 2131 児童手当の給付 関連する計画等への位置づけ 図 第四次行財政改革大綱 年度 「と要業務報告」「その他」 事務期間 (開始時期不明 図	住民税務課 住民係 林 龍太郎 宮 一次評価年月日 平成 21 年 6 月 29 日 連絡先(内線) 事業コード・事業名(歳出予算見積書) ※ 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(~に対して)・・・・・この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

②目的(意図)(~という状態にするために)・・・・・この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

子育てにかかる費用の一部を児童手当として支給し、家庭における生活の安定に奇与するとおもに、児童の健全な育成を支援する。

③手段(事業内容)(~を行う)・・・・・上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 1 認定請求受付・審査及び入力を行う
- 2 児童手当認定通知書・支給事由消滅通知書の送付を行う
- 3 児童手当支給(6月・10月・2月)を行う
- 4 現況届(毎年6月)の回収及び審査・入力を行う

(3) 活動指標の設定と推移・・・・・(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

		- A	274 TT	実約	責値	計画	 	最終目標年度			
		区分	単 位	19年度	20年度	21年度 (見込み)		22	年度 (見込み)		
	指標名	児童手当支給対象者数	人	1,272		1,300					
1	説明	当該年度現況届調査時に支給対象となった受給者数	目標値設定 の根拠	実績による							
	指標名										
2	説明		目標値設定 の根拠								

(4) 成果指標の設定と推移・・・・・(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

		E //	単位	実終	責値	計画	画値	最終目標年度		
		区 分	単 位	19年度	20年度	21年度 (見込み)		22	年度 (見込み)	
	指標名	児童手当支給認定者数	人	1,270	1,222	1,300		1,300		
1	説明	当該年度に支給認定した受給者数	目標値設定 の根拠	実績による						
2	指標名	支給認定率	%	99.8 95 100						
(2)	説明	事業の有効性を図る指標として、支給割合を表示した。	目標値設定 の根拠	実績による						

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 区 決算書・予算書等に記載の数字 Γ 按分計算による算定 平成19年度 平成20年度 平成20年度 平成21年度 平成20年度 平成2

								-										平成19年度 決 算	平成20年度 決 算	平成21年度 見込み	平成22年度 見込み
〇総	〇総事業費(コスト概算) =①+② (千円)															168,233	169,197	160,152	160,788		
	対前年比 %																100.6	94.7	100.4		
	A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)															118,140	119,553	117,316	118,000		
	B)一般財源(税金)															50,093	49,644	42,836	42,788		
	①事業費 (千円)															千円)	162,506	163,738	154,716	155,352	
	対前年比 %															%		100.8	94.5	100.4	
	②人件費の概算 (千円)															千円)	5,727	5,459	5,436	5,436	
	対前年比 %															92.8	95.3	99.6	100		
			課長	:	課	長補	左		係 長		_	般職	<u></u>		延べ	人数		年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22				
	町職員(正規職員)	0.05			0.15				l		0.55	0.58	0.58	0.80	0.76	0.77	0.77	5,727	5,459	5,436	5,436
	臨時職員	人数多人件费	なが人が	費の	年出は) ト	リシー	で計算	すとなっ	ていま	す。(0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価〔Check〕 視点 判定 項目別評価 評価結果 A 増加傾向にある B 変化していない 事業のニーズに変 В 化はありますか C 減少傾向にある D かなり減少している A 町が主体となるとなる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 Α る必要性がありますか C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください 3. 対象の設定は妥当 ですか Α B 対象の変更の余地がある 目的妥当性 A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください 4. 目的(意図)の設定 は妥当ですか B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある Α C・Dの場合その具体的な内容をお書きください A 期待したとおりの成果があった 5. 期待された成果は 得られましたか (成果指標の目標値へ B 概ね期待したとおりの成果があった Α C 期待したほどの成果が得られなかった の達成度) D 成果が少なく今後も向上する見込みがない A すでに実施している A·Bの場合その具体的な内容をお書きください 6. 連携可能な事務事 業はありますか (町以外の取り組みも 連携可能な事務事 C B 今後は可能性がある ' 含めて) C 今後も可能性はない A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください 7. 成果を下げずにコ スト(事業費・人件費) B 当面は余地なし В を削減できますか C 一部余地あり D かなり余地あり A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし 8. 受益者負担は適切 ですか Α C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり A·Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書 A アンケートなど具体的な方法で把握している 9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対 象の声やニーズを把 握していますか В B 日常業務の中で把握している 窓口・電話対応時に直接声を聞いている。 C 把握していない (7) 改革改善 [Action] 今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) 口を一つチェックしてください。 区 ア. 現状のまま継続する _ イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 」 エ. 廃止 」 オ. 休止 (ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください) 〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください) 時期(年度) a 重点化する(コストを集中的に投入する等) b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える) c 効率化を図る(コストを下げる) d 縮小する(簡素化する) r e その他(別事務事業に統合する等) 事業改善の経過 (事業改善をした内容と実施時期を記入します。 事業の方向性の具体化 21年度予算見積書への反映 ┌ あり 区 なし (誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。 [反映内容] 国の制度に基づいて実施している事業であり内容改善は不可能 (8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について) 上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック A. 貢献度 大 つ D. 上位施策なし B. 貢献度 中 児童手当認定請求受付から給付支給まで正確な事務を行う。 C. 貢献度 小 (今後の方向性 口を一つチェックしてください。) イ. 見直しのうえで継続する ¬ ウ. 終期設定 ¬ ア. 現状維持 工. 廃止 ¬ 才. 休止